北陸電力株式会社富山新港火力発電所石炭1号機リプレース計画 環境影響評価方法書に対する勧告について

平成24年1月23日
経済産業省
原子力安全・保安院

本日、電気事業法第46条の8第1項の規定に基づき、富山新港火力発電所石炭1号機リプレース計画環境影響評価方法書について、北陸電力株式会社に対し、環境保全の観点から勧告を行った。

勧告内容は別紙のとおり。

(参考) 当該事業の概要

1. 計画概要

- ・事業名称：富山新港火力発電所石炭1号機リプレース計画
(富山県射水市)
- ・原動力の種類：ガスタービン及び汽力
- ・出力：40万kW級
- ・事業目的：現状の石炭1号機は運転開始から約40年を経過しており、新鋭石炭火力より熱効率も悪い。このため、石炭1号機をリプレースし、液化天然ガス(LNG)を燃料とする高効率で環境負荷の少ないコンバインドサイクル発電設備を建設する計画である。

2. これまでの環境影響評価に係る手続

環境影響評価方法書受理	平成23年 7月28日
住民等意見の概要受理	平成23年 9月16日
富山県知事意見受理	平成23年12月13日

問合せ先：原子力安全・保安院
電力安全課 吉田、橘
電話03-3501-1742(直通)

北陸電力株式会社富山新港火力発電所石炭1号機リプレース計画
環境影響評価方法書に対する勧告内容

環境影響評価項目について

施設の稼働（機械等の稼働）に伴う低周波音について、対象事業実施区域の敷地境界近傍に民家が存在しているため、施設の稼働に伴う低周波音による影響について検討し、必要に応じて予測及び評価を行うこと。

調査、予測及び評価手法について

ガスタービンの起動時や停止時は、窒素酸化物排出濃度が急激に変動し、排ガスの着地濃度が高くなるおそれがあることから、発電設備の起動・停止時の窒素酸化物排出量等を踏まえて、必要に応じて起動時や停止時の窒素酸化物について予測及び評価を行うこと。